ベルサール新宿グランド in 東京

2019.12.14 sat ─ 15 sun

SEASON 2

就労支援フォーラムNIPPON 2019

障害者就労支援、その喜び、憂い ～総力戦のSEASON 2スタート～

SEASON 2は総力戦。

就労支援フォーラム NIPPON 2019

本フォーラムは、障害のある人の「働きたい」を実現するために、工賃の低さや一般就労への移行をはじめとする諸課題の解決に向け、障害者就労支援にかかわる多様な関係者が集い、学び、情報交換を行う日本最大規模の場として定着してきました。

2018開催までは「SEASON 1」として、障害者就労支援に関する総論をテーマに、日本財団と医療関係3団体で実行委員会を組織し開催してきましたが、6回目となる2019開催からは「SEASON 2」と位置づけ、各論の課題解決をテーマに、さまざまな関係機関・団体を加えて協働企画を行い、日本最大の障害者就労プラットフォームとしてさらに活発に展開し、課題への具体的な解決をはかります。日本財団（主催）と協働するのは右の12団体です。

現在、障害者就労支援には行政、事業者、そしてもちろん当事者が真摯かつ懸命に、より質の高い実現に取り組んでいます。個人の幸福度が高まるような「働く喜び」を当事者、企業、就労支援事業者が享受できたときの喜びはかけがえのないものである一方で、日々の活動の中では、違和感や不条理に憂いを抱くことが多いのではないでしょうか。おそらく、より高い次元での支援をめざす人にこそ。

私たちはその喜びを特定の出来事とすることなく汎用させ、その憂いには具体的な解決策をもって取り組みたいと思います。今回、わが国の障害者就労支援にかかわる多方面の総力によって、その拡散と解決に力を尽くします。

協働企画団体

- 日本精神科看護協会
- 日本作業療法士協会
- 日本精神保健福祉士協会
- 全国社会就労センター協議会
- きょうされん
- 就労継続支援A型事業所全国協議会
- ジョブコーチ・ネットワーク
- 全国就業支援ネットワーク
- 全国就労移行支援事業所連絡協議会
- 日本セルプセンター
- 障害者雇用企業支援協会
- 全国重度障害者雇用事業所協会

就労支援フォーラムNIPPON ～SEASON 1～

（）は参加者数

■ **第1回 2014/12/6-7開催**（1,095名）
「改革のグランドデザイン」が描いた景色は今 ～成果と課題を検証し、未来に向かう～

■ **第2回 2015/12/5-6開催**（1,354名）
その支援、○×△？ ～もっとよくなるための処方箋～

■ **第3回 2016/12/3-4開催**（1,430名）
はたらくNIPPON !計画 ～答えはない、ヒントはここに山ほどある～

■ **第4回 2017/12/9-10開催**（1,370名）
それぞれの試行錯誤、どこまでもやめない試行錯誤 ～そして生まれる新たな支援～

■ **第5回 2018/12/8-9開催**（1,387名）
フォーラム5回目を迎えて、成果と課題を検証する ～ SEASON 1 完結編～

毎年12月の東京に、事業所、企業、自治体、行政、医療、研究・教育機関など全国から専門家が集結し、さまざまな議論を行ってきました。「SEASON 1」のプログラムは公式サイトでご覧いただけます。

hataraku-nippon.jp/archive/forum/

「ナイトセッション」で発表しよう！ 12/14 sat 18:30-20:30

活動報告 大募集

就労支援の現場でがんばっている方々の活動を「ポスターセッション」のスタイルで報告・共有できる交流会として、今年もナイトセッションを開催します。就労支援事業所などでの日々の取り組みを、文章や写真による「活動報告」としてホワイトボードに貼り出し、それを見て回る参加者と、自身のホワイトボード前で待つ発表者とが、気軽に、自由に、質問や情報交換をすることができます。見るだけでも楽しいナイトセッションですが、発表する側になればよりいっそう貴重な機会に。ぜひご応募ください。

昨年のナイトセッションでは、メインホールに約50の活動報告が並び、活発な交流が生まれました。

1 応募について……A4ペラ1枚の「抄録」をメールで送るだけ

【応募方法】

- 事業所の紹介や活動内容を要約した「抄録」を作成して、ご応募いただきます
  （「抄録」は当日の資料集に掲載して、フォーラム参加者全員に配布します）
- 「抄録様式」（Wordファイル／A4 サイズ1ページ）を公式サイト【hataraku-nippon.jp/forum2019/】でダウンロードして、必要事項を記入のうえ、アドレス【shurou2019@oscar-japan.com】へメールで送付してください
- 発表のエッセンスとして、「計画」「挑戦」「実践」「更新」のいずれかの要素を含めてください
- 募集の詳細を記した募集要項も同サイトでご確認ください

【応募期間】

2019年9月15日（日）-10月15日（火）

2 発表について……ナイトセッションは気軽で自由なポスターセッション形式です

【発表までの流れ】

- 募集締め切り後、日本財団で選考させていただきます
- 10月末までに選考結果を通知のうえ、発表要項を送付します
- 当日12/14（土）は11:00-12:00にポスターを貼り出し、18:30-20:30のナイトセッションにご参加ください

【発表方法】

- ナイトセッションは、ポスターセッション形式です。1題につきホワイトボード（横180cm×縦90cm）を準備します
- 掲示するポスターの様式は自由です。採用された方には詳細をお知らせします
- 発表される方も「就労支援フォーラムNIPPON 2019」への参加申込が必要です。ご注意ください

さらに、活動報告へ応募された中から選ばれた6名（予定）の方には、ポスターセッションだけでなく、ナイトセッション内「アップデートPart2 “ザ・プレゼンテーション”」の登壇者として、ステージ上で7分間のプレゼンも行っていただきます。プレゼン方法や事前の準備については、運営事務局がサポートいたします。

12 / 14 sat　12:00 開場　1日目

13:00　オープニング

13:40–14:00　メッセージ
「障害者就労支援に期待すること」
村木厚子
津田塾大学 客員教授

14:05–15:05　オープニングセッション
「アップデート」
後藤千絵
一般社団法人サステイナブル・サポート 代表理事
安田祐輔
株式会社キズキ 代表取締役社長
川俣聡司
社会福祉法人愛光園 理事
吉原大樹
社会福祉法人筑紫会 常務理事
斉藤 剛
NPO法人レジスト 理事長
進行／枡谷礼路
NPO法人み・らいず 理事

15:20–16:45　パネルディスカッション①
「やらなければならないことから逆算し報酬改定を考える」
源河真規子
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 課長
金塚たかし
NPO法人大阪精神障害者就労支援ネットワーク 統括施設長
北川雄史
社会福祉法人いぶき福祉会 専務理事／きょうされん就労支援部会員
久保寺一男
NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会 理事長
進行／奥西利江
社会福祉法人維雅幸育会 ふっくりあモォンマール 管理者

17:00–18:15　パネルディスカッション②
「国など公共機関で働く障害者の支援について～批判を超えて当事者、職場のために何をすべきか～」
小野寺徳子
厚生労働省職業安定局 障害者雇用対策課 課長
眞保智子
法政大学現代福祉学部・大学院人間社会研究科 教授
奥平真砂子
公益財団法人笹川平和財団 経営企画部 特任調査役
酒井京子
NPO法人全国就業支援ネットワーク 代表理事
進行／野路和之
NPO法人わかくさ福祉会
障害者就業・生活支援センター TALANTセンター長

18:30–20:30　ナイトセッション
「ポスターセッション “計画・挑戦・実践・更新”」
「アップデートPart 2 “ザ・プレゼンテーション”」
※ 開催時間中は参加も出入りも自由です
（事前にフォーラムへの参加申し込みが必要です）

12 / 15 sun　8:30 開場　2日目

9:00–10:30　分科会Ⅰ
6会場で同時進行／定員あり／事前登録制

Ⅰ–ア「就労移行支援事業の支援者に求められること～アセスメントとジョブマッチングの視点から支援の質を考える～」
中山 肇
NPO法人リエゾン 就労移行支援事業所リエゾン 所長
星明聡志
社会福祉法人北摂杉の子会 ジョブジョイントおおさか 所長
進行／稲葉健太郎
社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部 就労支援課長

Ⅰ–イ「障害の重い人の“はたらく”を支える実践からみえてくること」
福島さち子
社会福祉法人あけぼの福祉会 府中共同作業所 支援員
竹腰龍太
社会福祉法人いぶき福祉会 ごんのしまカンパニー 支援員
助言者／塩田 彩
毎日新聞統合デジタル取材センター
進行／北川雄史
社会福祉法人いぶき福祉会 専務理事

Ⅰ–ウ「もうそろそろ本気で工賃倍増Part 2 ～セルプ/工賃向上・受注拡大実現特別委員会進捗報告～」
志賀正幸
社会福祉法人つかさ会 理事長
新堂 薫
社会福祉法人武蔵野千川福祉会 常務理事／チャレンジャー 施設長
奥西利江
社会福祉法人維雅幸育会 ふっくりあモォンマール 管理者
進行／叶 義文
社会福祉法人キリスト者奉仕会 理事長

Ⅰ–エ「精神障害者の社会的復権と就労 ～就労支援のあり方を権利擁護の視点から問い直す～」
廣江 仁
社会福祉法人養和会 理事長
中原さとみ
社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会 桜ヶ丘記念病院 精神保健福祉士
太田隆康
独立型精神保健福祉士事務所 相談室あめあがり 代表
谷奥大地
公益財団法人浅香山病院
アンダンテ就労支援ステーション サービス管理責任者
進行／森 克彦
公益財団法人浅香山病院 アンダンテ就労支援ステーション 管理者

Ⅰ–オ「精神障害者に対する就労支援のコツ ～対応が困難と言われる事例も捉え方と介入の工夫次第～」
金川善衛
医療法人清風会茨木病院 デイケアセンター 作業療法士
千葉由香里
株式会社ハートスイッチ サービス管理責任者
中越太一
社会福祉法人ファミーユ高知 しごと・生活サポートセンター
ウェーブ副センター長・サービス管理責任者
峰野和仁
社会福祉法人復泉会 くるみ共同作業所 施設長
進行／野﨑智仁
国際医療福祉大学 助教
進行／小川 浩
大妻女子大学人間関係学部 教授

Ⅰ–カ「本物の農福連携とは? ～巷にあふれる家庭菜園をそう呼ばない～」
難波良多
農林水産省農村振興局農村政策部 都市農村交流課
都市農業室長（兼農福連携推進担当）
林 博文
NPO法人ピアファーム 理事長
久万真毅
山陽新聞社 経済部記者
進行／竹村利道
日本財団公益事業部国内事業開発チーム シニアオフィサー

11:00–12:30　分科会Ⅱ
6会場で同時進行／定員あり／事前登録制

Ⅱ–キ「障害者就業・生活支援センターのこれからを考える～生活困窮者等のうち障害が窺われるものへの支援についてみんなでセッション!～」
大戸優子
千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク 会長
前野哲哉
大阪市障がい者就業・生活支援センター センター長
コーディネーター／藤尾 健二
全国就業支援ネットワーク障害者就業・生活支援センター部会 部会長

Ⅱ–ク「就労支援の変化の中であらためてジョブコーチのあり方を問う」
新荘暢孝
社会福祉法人南高愛隣会・長崎障害者就業・生活支援センター
主任職場定着支援担当者
鈴木 修
NPO法人くらしえん・しごとえん 代表理事
滝谷和久
豊通オフィスサービス株式会社 業務グループ グループリーダー
進行／若尾勝己
NPO法人東松山障害者就労支援センター 代表理事
助言者／小川 浩
大妻女子大学人間関係学部 教授

Ⅱ–ケ「破綻解雇事件のあと、A型事業所は存続できるのか?～働きがいのある仕事の提供ができないところは撤退か?良きと悪しき事業所が徹底討論～」
萩原義文
NPO法人就労継続支援A型事業所全国協議会 副理事長
前田隆之
都市環境サービス株式会社 代表取締役
進行／朝日雅也
埼玉県立大学 副学長／保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 教授

Ⅱ–コ「工賃向上を支える共同受注窓口機能とは」
寺口能弘
NPO法人のんびーり青山の会 理事長
永田弘幸
社会福祉法人福井県セルプ 福井県セルプ振興センター センター長
安部善明
NPO法人島根県障がい者就労事業振興センター 事務局長
進行／髙江智和理
社会福祉法人北海道光生舎 理事長

Ⅱ–サ「雇用企業での定着推進とは～定着化向上の方向性～当事者だからできる支援と業務」
田中章仁
NTTクラルティ株式会社 営業部 アクセシビリティ推進室 担当課長代理
山内礼美
トヨタループス株式会社 管理部 経理・総務グループ
藤田英親
国分寺すずかけ心療クリニック 院長
進行／有村秀一
一般社団法人障害者雇用企業支援協会 理事

Ⅱ–シ「働いて元気になる!」
中谷真樹
公益財団法人住吉偕成会 住吉病院 院長
工藤泰世
公益財団法人住吉偕成会
すみよし障がい者就業・生活支援センター（生活支援担当）
進行／末安民生
岩手医科大学看護学部 教授／一般社団法人日本精神科看護協会 相談役

13:30–14:45　パネルディスカッション③
「障害者雇用ビジネス ～それは“安易な雇用”ではないのか?～」
中島隆信
慶應義塾大学商学部 教授
中村健太郎
アクセンチュア株式会社 戦略コンサルティング本部
マネジング・ディレクター
藤尾健二
千葉障害者就業支援キャリアセンター センター長
山田雅彦
厚生労働省政策立案総括審議官
玉木幸則
社会福祉法人西宮市社会福祉協議会 地域生活支援課
地域福祉権利擁護係 係長
進行／中野香帆里
ジャーナリスト／早稲田大学ジャーナリズム研究所 招聘研究員

14:50–15:50　シンポジウム
「WORK ! DIVERSITYは働きづらさに何をもたらすか」
衛藤晟一
参議院議員／自由民主党
清家 篤
日本私立学校振興・共済事業団 理事長／全国社会福祉協議会 会長
堀家春野
NHK解説委員
炭谷 茂
社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長
伊原和人
厚生労働省政策統括官
進行／駒村康平
慶應義塾大学経済学部 教授

15:50–16:00　エンディング

※プログラムのタイトルはすべて仮題です。内容、出演者、時間帯などは調整中のため変更することがあります。

オープニングセッション　12 / 14 sat 14:05–15:05

「アップデート」

既成にとらわれず、批判を恐れず、進化し続けること。障害者就労支援においてもそのアップデートが必須です。それは現在の中心世代にとって「耳が痛い」「生意気に何を」の反応や、同世代にとって「そのくらいじゃダメだよ」という反発があるくらいで丁度いいと思っています。このセッションでは、現状に満足せず、上書きや新規保存に取り組む後継者や起業家など若い世代の自由闊達な発信から刺激を受けたいと思っています。

［進行］**枡谷礼路**
NPO法人み・らいず 理事

パネルディスカッション①　12 / 14 sat 15:20–16:45

「やらなければならないことから逆算し報酬改定を考える」

2021年に予定されている障害福祉サービス等報酬改定がテーマ。移行や定着、継続にかかわる就労支援事業者にとっては経営に直結する話題であることはもちろんですが、就労支援の方向性として具体的意思ともなることから、関係機関から企業まで就労支援全体にとっても重大関心事です。単価設定の多寡に関する安易な要望ではなく、現状分析からの課題解決型提案、多数ではないが見逃してはいけない理念型提案など、今後、報酬改定の論点に盛り込んでいただきたい視点を現場から報告、活発に議論します。

［進行］**奥西利江**
社会福祉法人維雅幸育会 ふっくりあモォンマール 管理者

パネルディスカッション②　12 / 14 sat 17:00–18:15

「国など公共機関で働く障害者の支援について ～批判を超えて当事者、職場のために何をすべきか～」

昨年来、障害者雇用に関する話題の中心は、省庁における障害者の水増し雇用。早急に事態の収束をはかるために大量採用に踏み出しました。ただ、関係者共通の懸念は、拙速に数を合わせても本質的な雇用にはつながらず、かえって職場、障害者の混乱を招くだけではないかというものでした。予測通りすでに大量離職も発生し、厚労省も離職に至った具体的な理由を把握するとともに、職場への定着率が高い行政機関の要因を調べて支援策に生かそうとするなど動きが見られています。いま求められるのは「けしからん」の批判ではなく、求められる適切な支援のあり方。この問題を具体的に解決するための方法を官民学で検討します。

［進行］**野路和之**
NPO法人わかくさ福祉会
障害者就業・生活支援センター TALANT センター長

パネルディスカッション③　12 / 15 sun 13:30–14:45

「障害者雇用ビジネス ～それは“安易な雇用”ではないのか?～」

各企業は社会の要請に応えるため知恵を絞り、工夫を凝らし障害者雇用に努めています。しかし、「その労、避けられるものなら……」という本音を見透かした、まるでCO^2取引のようなビジネスが賑やかとなってきています。一方で、企業負担の軽減策となるアイデアは安易な雇用につながるとして導入に否定的意見が多いのが実情です。私たちがめざす社会の姿は、数合わせでも、無理強いでもなく、それぞれの自己ベストを尽くすことを前提に「一緒に働く」ことにより近い景色のはず。安易と努力の間について議論し、何が必要なのかについて具体策を提示したいと思います。

［進行］**中野香帆里**
ジャーナリスト／早稲田大学ジャーナリズム研究所 招聘研究員

シンポジウム　12 / 15 sun 14:50–15:50

「WORK! DIVERSITYは働きづらさに何をもたらすか」

障害者のほか多様な「働きづらさ」をもつ人々を支援するプロジェクト「WORK! DIVERSITY」は、2020年から全国各地で実証実験を開始します。また、国の動向にも「断らない支援」「（地域）丸ごと」といったキーワードが示され始めています。最新の政策動向を学ぶとともに、WORK! DIVERSITYのポイントである「障害者就労支援事業の横断的活用」が果たして功を奏すか?その検証ポイントはどこなのか?また実際の運用にはどのような課題があるのか?そして実証実験への期待について政・官・学を中心に議論します。

［進行］**駒村康平**
慶應義塾大学経済学部 教授

公式Webサイト

プログラムや参加申込に関する最新情報は、公式WebサイトやFacebookで随時お知らせします。

https://hataraku-nippon.jp/forum2019

分科会Ⅰ（6会場で同時進行／定員あり／事前登録制）

12 / 15 sun 9:00–10:30

Ⅰ群・Ⅱ群から１つずつ、受講希望のプログラムを事前にご登録いただけます（フォーラム参加申込時）。定員に達した分科会は参加券がないと入場できませんのでご注意ください

Ⅰ-ア

企画：全国就労移行支援事業所連絡協議会

「就労移行支援事業の支援者に求められること ～アセスメントとジョブマッチングの視点から支援の質を考える～」

就労移行支援事業はパソコン教室でも職業紹介所でもありません。単に就職させるだけでなく、働き続けながら自分らしいライフキャリアを実現することを目的とし、障害者雇用を福祉側から後押しする役割を担っています。分科会では就労移行支援の基本ともいえるアセスメントとジョブマッチングを切り口にし、先駆的に取り組む事業所からの話題提供、会場との意見交換を経て、支援の質や大切にしたいことを共有します。

［進行］**稲葉健太郎**

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団
名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部 就労支援課長

Ⅰ-イ

企画：きょうされん

「障害の重い人の“はたらく”を支える 実践からみえてくること」

「障害の重い人」という表現は、主観的で多様な像を内包しています。そしてはたらくことを追究しない口実になることもあります。そもそもはたらくとはどういうことなのか。支援者も、生産性ありきの価値観に縛られてはいないだろうか。そして、障害のある人の営みを、丁寧に社会の中の役割として価値化することに取り組んでいるだろうか。実践報告を通じて、障害の重い人のはたらくを支える本質を確かめ合う場にしたいと思います。

［助言者］**塩田 彩**

毎日新聞統合デジタル取材センター

Ⅰ-ウ

企画：全国社会就労センター協議会

「もうそろそろ本気で工賃倍増Part 2 ～セルプ／工賃向上・受注拡大実現特別委員会進捗報告～」

全国社会就労センター協議会が昨年度立ち上げた、「工賃向上・受注拡大実現特別委員会」。本フォーラム2018では、特別委員会においてどのような方策をすすめるか、人材育成・現場支援・共同受注窓口活性化の３本柱の具体案を提示しました。２年目となる今回は、Ｂ型事業所の平均工賃月額3万円以上を目標に動き始めた人材育成と現場支援のプロジェクトについて、その進捗状況や今後の展開予定等を報告します（共同受注窓口活性化支援については日本セルプセンターが報告します）。

［進行］**叶 義文**

社会福祉法人キリスト者奉仕会 理事長

Ⅰ-エ

企画：日本精神保健福祉士協会

「精神障害者の社会的復権と就労 ～就労支援のあり方を権利擁護の視点から問い直す～」

就労支援を考えようとするとき、私たちはとかく就職率や工賃額など、数字に表われる効果や効率に焦点を当てがちです。もちろん、実質が伴わないのでは意味がありませんから、それは必要な視点ではあります。しかし、そこにのみ気を取られてしまうときに、ともすればご本人のニーズを置き去りにしてしまいかねない危うさもあります。本分科会では、権利擁護の視点から就労支援のあり方について検証し、今後の取り組みにつなげたいと思います。

［進行］**森 克彦**

公益財団法人浅香山病院 アンダンテ就労支援ステーション 管理者

Ⅰ-オ

企画：日本作業療法士協会

「精神障害者に対する就労支援のコツ ～対応が困難と言われる事例も捉え方と介入の工夫次第～」

一般就労をめざしてハローワークに求職登録をする、また就職を実現する精神障害者の数は年々増加の一途を辿っています。そういった中、支援を実践する現場からは、対応や就職の実現、その継続に困難さがあるといった声も耳にします。今回、対応が困難な状況がありながらも一般就労を実現した事例、就労定着をしている事例を振り返り、アセスメントや支援への視点・観点といった支援のコツをみなさんと考えていきたいと思います。

［講師］**千葉由香里**

株式会社ハートスイッチ サービス管理責任者

Ⅰ-カ

企画：日本財団

「本物の農福連携とは？ ～巷にあふれる家庭菜園をそう呼ばない～」

福祉就労はもとより企業就労においても“農福連携”は旬のテーマとして各地で展開されています。ただ、そのほとんどが“業”としてはまったく成り立たない“土いじり”、せいぜい“家庭菜園”程度でしかないのが実態だとあえて厳しく指摘したいと思います。そもそも農業における担い手を福祉に求めた発想が農福連携。農には一切貢献していない現状に対し、本テーマの主管課としての農水省ではどう捉えているのか?そしてどう考えをあらため、いかに業として成り立たせていくのかについて本音で議論します。

［進行］**竹村利道**

日本財団公益事業部国内事業開発チーム シニアオフィサー

分科会Ⅱ（6会場で同時進行／定員あり／事前登録制）

12 / 15 sun 11:00–12:30

Ⅰ群・Ⅱ群から１つずつ、受講希望のプログラムを事前にご登録いただけます（フォーラム参加申込時）。定員に達した分科会は参加券がないと入場できませんのでご注意ください

Ⅱ-キ

企画：全国就業支援ネットワーク

「障害者就業・生活支援センターのこれからを考える ～生活困窮者等のうち障害が窺われるものへの支援についてみんなでセッション！～」

今年度より全国の障害者就業・生活支援センターのうち、50センターに就業支援担当者（生活困窮者等支援担当）が配置されました。しかしながら、各都道府県に1名程度の配置のため、支援内容・活動内容についてそれぞれ悩みながら進めている状況があります。そこで、50センターに調査を実施し、より有効な活動について模索します。また、厚生労働省社会・援護局の事業である「生活困窮者自立支援制度」に基づく支援機関との連携について、縦割りの制度を超えて意見交換をはかります。

［シンポジスト］**大戸優子**

千葉県生活困窮者自立支援実務者ネットワーク 会長

Ⅱ-ク

企画：ジョブコーチ・ネットワーク

「就労支援の変化の中であらためて ジョブコーチのあり方を問う」

ジョブコーチが制度化され15年以上が経過し、あらためてこの制度の果たすべき役割、またこの制度で求められる支援のコアとなる理念や技術について、立場の違いから見えてくる現状と課題を議論します。現在の障害者雇用を一見すると、量的視点からは順調とも取れるここ近年ですが、さまざまな質的課題を生み出していることも忘れてはなりません。障害者雇用の場における質のあり方は、国が示す「働き方の質」そのものであり、これらを担保するための制度の1つとして、ジョブコーチという役割はどのように活かされるべきなのか、みなさんと一緒に考える機会とします。

［進行］**若尾勝己**

NPO法人東松山障害者就労支援センター 代表理事

Ⅱ-ケ

企画：就労継続支援Ａ型事業所全国協議会

「破綻解雇事件のあと、Ａ型事業所は存続できるのか？ ～働きがいのある仕事の提供ができないところは撤退か？良きと悪しき事業所が徹底討論～」

平成29年の岡山県でのＡ型事業所の破たん・利用者の解雇事件のその後のＡ型について考えます。全国の７割の事業所は生産活動収支が赤字ですが、改善に努力している事業所も多い。一方で、努力しても難しいケース（狭い空間に大勢の利用者を受け入れ、最低賃金を支払うことが難しい内職仕事程度で、経費を節約しサービス報酬費を賃金に充当している）がある。国の基準でいうところの良き運営をしている事業所と悪しき？Ａ型事業所（代弁）に登壇いただき、徹底討論します。

［進行］**朝日雅也**

埼玉県立大学 副学長／保健医療福祉学部社会福祉子ども学科 教授

Ⅱ-コ

企画：日本セルプセンター

「工賃向上を支える共同受注窓口機能とは」

請負仕事、販売等における共同体制構築にとどまらず、営業体制によるマーケットからの需要の喚起、その需要がより高い工賃獲得のための仕事となるかの見極めも、共同受注窓口において必要な機能となります。全国の共同受注窓口の連携活動において見出された特徴的な共同受注窓口に登場いただき、工賃向上のために必要とされる共同受注窓口機能の把握と新たに求められる機能を討議します。新たに求められる機能においては、9月に開催の「就労支援フォーラムNIPPON 特別企画」の『全国受発注システム構想』に関しても検証します。

［進行］**髙江智和理**

社会福祉法人北海道光生舎 理事長

Ⅱ-サ

企画：障害者雇用企業支援協会／全国重度障害者雇用事業所協会

「雇用企業での定着推進とは ～定着化向上の方向性～当事者だからできる支援と業務」

障害者雇用を行う企業にとって職場定着は最大の問題であり続けています。会社に来られなくなる等の離職に向かう理由は、①自分に仕事が合わない、②職場（上司）に障害の理解がない、③職場の雰囲気が悪い、④処遇が悪い等から職場にいづらくなって、などいろいろあり、みなさんご存知の通りです。自分を評価してくれる人がいて、職場に自分の居場所があれば、辞めずに済んだ場合も多いのではないでしょうか。ここでは企業が新たに行っている取り組みを紹介し、障害者に対する社会の意識や今後の方向性を考えます。

［講師］**山内礼美**

トヨタループス株式会社 管理部 経理・総務グループ

Ⅱ-シ

企画：日本精神科看護協会

「働いて元気になる！」

わが国では近年、精神障害のある人たちの就職件数が大幅に増加しています。日本精神科看護協会は精神科医療と福祉サービスの提供機関として、リカバリー志向で活動していますが、就労支援に関してはIPS（Individual Placement and Support=個別職業紹介とサポート）モデルを用いています。個別援助付き雇用モデルは職業前訓練と比較した場合、一般就労における成果においてより効果的です。本分科会では、病院と障害者就業・生活支援センターそれぞれの立場からの経験を伝えたいと思います。

［講師］**工藤泰世**

公益財団法人住吉偕成会 すみよし障がい者就業・
生活支援センター（生活支援担当）

はたらく障害者サポートプロジェクト

hataraku-nippon.jp

日本財団の新しい就労支援の取り組みとして2015年4月からスタートした「はたらくNIPPON !計画」は、新たに「はたらく障害者サポートプロジェクト」として次のステップへ進みます。いま絶対に乗り越えなければならない課題と、それらに対する出口として具体的な解答やビジョンを示し、着実に実行することによって、障害のある人の「はたらく」を全力で応援します。詳細は公式サイトでご覧ください。

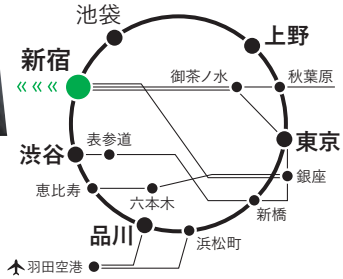
はたらく NIPPON ! 計画 → 日本財団 はたらく障害者 サポートプロジェクト

就労支援フォーラムNIPPON 2019

障害者就労支援、その喜び、憂い ～総力戦のSEASON 2 スタート～

日　時　**2019年 12月14日（土）** 13:00–18:15 ［18:30–20:30 ナイトセッション］
12月15日（日） 9:00–16:00

会　場　**ベルサール新宿グランド**
（東京都新宿区西新宿 8-17-3 住友不動産新宿グランドタワー 1F）



対　象　**全国の障害者就労支援事業所、企業、医療従事者、障害当事者・家族、そのほか障害者就労支援にかかわる関係者・機関**

参加費　**7,000円**（申込受付 9/15–11/15）
申込期間
※当日申込受付はありません
※ナイトセッションは参加も出入りも自由です（事前にフォーラムへの参加申し込みが必要です）
※2日目のお弁当は1,000 円（お茶付）
※お支払い後は理由の如何を問わず払い戻しできませんので、あらかじめご了承ください
※振込期限を過ぎてもご入金が確認できない場合、お申し込みをキャンセルとして処理させていただきます

申込方法　**Webサイトをご利用いただくか、東武トップツアーズ（株）東京国際事業部までご連絡ください**

◎ **Webサイトの場合**
フォーラム公式ページ（hataraku-nippon.jp/forum2019）に申込専用Webサイトのリンクがあります

◎ **東武トップツアーズ（株）東京国際事業部**（担当：田中、斉藤、河口）
Tel: 03-5348-3897　Fax: 03-5348-3799

本フォーラム過去5回の全参加者に優先案内を行っているため、締め切り前に満員必至です! お早めにお申し込みを!!

主　催　**日本財団**

協働企画　**日本精神科看護協会、日本作業療法士協会、日本精神保健福祉士協会、全国社会就労センター協議会、きょうされん、就労継続支援A型事業所全国協議会、ジョブコーチ・ネットワーク、全国就業支援ネットワーク、全国就労移行支援事業所連絡協議会、日本セルプセンター、障害者雇用企業支援協会、全国重度障害者雇用事業所協会**

後　援　厚生労働省（予定）

お問い合わせ先
就労支援フォーラムNIPPON 2019運営事務局（オスカー・ジャパン株式会社内）
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-35-1 ネオ・シティ三鷹
TEL: 0422-24-6816（平日10:00-12:00、13:00-16:00）　FAX: 0422-24-6812　MAIL: shurou2019@oscar-japan.com
hataraku-nippon.jp/forum2019

日本財団 THE NIPPON FOUNDATION For Social Innovation